

毎月第1・第3日曜日発行  
広報みたかはシルバー人材センターの  
会員がお届けしています。

発行：三鷹市  
編集：秘書広報課  
〒181-8555 三鷹市野崎1-1-1  
市役所代表電話  
☎0422-45-1151(代)  
ホームページ  
http://www.city.mitaka.tokyo.jp/  
携帯サイト  
http://www.city.mitaka.tokyo.jp/i/top.html

今号の紙面から

原子爆弾被爆者見舞金を支給します	.....2
耐震改修促進計画を策定しました	.....3
特定健診・後期高齢者健診の受診票を送りました	...4
三鷹市職員を募集します	.....5
北京オリンピック特集	.....6・7
市からのお知らせ	.....11面から

## 戦没者追悼式並びに 平和祈念式典

☒ 午前10時～午後0時5分  
☒ 三鷹市公会堂

第二次世界大戦で犠牲になられた方々のご冥福をお祈りし、恒久平和を願う式典です。手話通訳付き。

内容 献花、追悼と平和祈念のことは、コーラス(みたかブルーコーラス・大成高校合唱部)、被爆体験談(三鷹市被爆者の会)、朗読(連雀地区住民協議会)、黙とう



戦没者追悼式並びに  
平和祈念式典

## 仙川公園における献花(荒天中止)

☒ 午前9時～10時30分  
☒ 仙川公園・平和の像前

三鷹市民の平和への思いが託され、多くの方からの浄財により建立された「平和の像」の前で、どなたでも献花ができます。

戦没者追悼式並びに平和祈念式典の会場(三鷹市公会堂)まで連絡バス(9時20分、9時50分の2回)を運行します。



仙川公園 平和の像

## 平和への願いを込めた 千羽鶴

仙川公園または戦没者追悼式並びに平和祈念式典に、平和への願いを込めて献呈する千羽鶴をご提供ください。

折り鶴は一つ一つすべて糸などでつなげて掛けることができる状態にしてください。差し支えなければ名札もお付けください。ご提供いただける方は、8月13日(水)までに企画経営室☎内線2115へ。

☒ 企画経営室☎内線2115・地域福祉課☎内線2615

## 関連記事は2面へ

明日へつなぐ、平和への願い

1945年(昭和20年)8月、広島・長崎に原子爆弾が投下され、その年の8月15日、第二次世界大戦はようやく終わりを迎えました。終戦から63年が経過した今、平和について考え、風化しつつある戦争の記憶を次の世代に伝えてゆくことは、私たちがなすべき大切な役目です。

三鷹市では、1982年(昭和57年)に「三鷹市非核都市宣言」を行い、1992年(平成4年)には「三鷹市における平和施策の推進に関する条例」を制定し、平和事業の積極的な推進を図っています。

今年も8月の平和強調月間に「平和展」や「戦没者追悼式並びに平和祈念式典」などを開催します。たくさんの方々のご参加をお待ちしております。

8月15日 世代をこえて平和を考える日

## 武蔵野の森公園に現存する掩体壕

戦争当時、三鷹には軍需工場が多く、たびたび空襲を受けました。市の西にある調布飛行場では戦闘機を空襲から守るため、掩体壕(えんたいごう)が作られました。掩体壕は「かまぼこ」状で、厚さ50cmほどの鉄筋コンクリートで作られており、中は空洞です。現在、武蔵野の森公園(大沢)で見ることができます。

掩体壕  
大沢1号



協力団体(順不同)

三鷹市遺族会・憲法を記念する三鷹市民の会・各住民協議会・三鷹市被爆者の会・中国帰国者の会三鷹支部・世界連邦運動協会三鷹支部・三鷹国際交流協会・三鷹市の福祉をすすめる女性の会・三鷹市立南浦小学校PTA連合会・三鷹市消費者団体連絡会・三鷹市女性問題懇談会・三鷹市赤十字奉仕団・三鷹市合唱連盟・東京三鷹ライオンズクラブ・東京三鷹ロータリークラブ・東京井の頭ロータリークラブ・三鷹青年会議所

## 市長コラム

三鷹市長 清原慶子



左から大塚雅彦署長、市長、久我栄一本部長

## 高めよう地域の防犯力

7月27日(日)午前、三鷹駅南口中央通りで、連雀学園三鷹市立南浦小学校鼓笛隊の元気溢れる演奏の中、「地域防犯パレード」市民の集いを実施しました。

三鷹市は、本年度、集合住宅が多い上連雀、下連雀地域を重点地区として、東京都の地域防犯モデル事業を、警視庁三鷹警察署との協働で実施しています。このパレードは、本モデル事業の一環として、事業内容の広報と、夏季期間の窃盗等の犯罪防止を呼びかける目的で行ったものです。

当日は、東京都青少年・治安対策本部の久我本部長、三鷹警察署の大塚署長、三鷹市防犯協会の吉野会長、三鷹市生活安全推進協議会の山本会長をはじめ、安全安心・市民協働パートナーを実行して下さっている町会・自治会等の団体が多数参加されました。参加者と沿道の皆様は特別参加の警視庁女性白バイ隊や警備隊の模範訓練等を見学したり、騎馬隊の馬に試乗したりして、地域防犯の意識を高めてくださいました。

市民の集いでは、下連雀地区の集合住宅の居住者代表が、「かつて窃盗事件が発生したこともあり、地域の町会と管理組合が協働して、最適な防犯カメラ等の設置や自主的活動を通じて、集合住宅の防犯力を高めた」との決意を宣言されました。

市内の犯罪発生件数は昨年、今年と減少傾向を強めています。集合住宅の窃盗事件や不審者の侵入等の事案は懸案となっています。本モデル事業を通じて、地域の防犯力を、市民の皆様との協働によりさらに高めていきたいと思います。